

岸和田市内における公園の利活用に関するサウンディング型市場調査について

令和4年12月28日

1. 調査の経緯

令和4年3月末現在、岸和田市内には、大小合わせて309カ所の公園等（以下、「公園等」と呼ぶ）があり、レクリエーション、市民活動や憩いの場、災害時の避難場所などとして利用されるほか、環境や景観などにも役立つ複合的な機能を活かし、豊かな地域づくりや活性化に寄与する重要な役割を担っています。

しかし、近年は公園に対するニーズが多様化しており、これまで以上に効果的かつ効率的な公園整備や管理運営を進め、公園を使いこなすことが求められています。

そこで岸和田市では、こうした取り組みをよりスピード感をもって進めるため、官民連携事業に関心がある民間事業者のアイデアを広く募集し、今後の事業計画等に反映するためサウンディング型市場調査を令和4年10月1日から令和4年12月9日まで実施しました。

2. サウンディング型市場調査への参加団体

事前説明会参加：6団体 ヒアリング参加：5団体

3. サウンディング型市場調査の結果概要

民間事業者の視点から、中央公園などの利活用について、様々なアイデアやご提案や市への要望をいただきました。主なご提案等の内容は、次の通りとなります。

- ・事業の仕組みとして、PPP（指定管理者制度）とPFIやP-PFI事業との併用型の提案や、安定的なサービス提供のため、想定される事業期間を15年から20年とする提案。
- ・スポーツに係る施設整備やソフト事業の取組みに関する提案
- ・バーベキューや貸し自転車、eスポーツ、カフェなど公園利用者の利便性向上につながる提案
- ・多くの公園を事業対象とすることでスケールメリットを生み出し、公園の管理水準を向上させることなどの提案
- ・民間事業者が整備する施設に必要となる上下水道などインフラ施設は完備してほしいとの要望
- ・公募に際しては、要求水準を必要最小限にし、民間事業者のノウハウやアイデアを活かした自由な提案ができるよう配慮してほしいとの要望

など

4. 今後の進め方

本サウンディング参加者からの提案や要望等をもとに、対象となる公園や事業内容、具体的な公募条件等について、次年度以降も引き続き公園の利活用向上に向けた取組みを検討していきます。